

(公印省略)

14病防第1号の8
平成14年10月31日

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、病害虫発生予報第8号(11月)を発表したので送付します。

平成14年度病害虫発生予報第8号(11月)
主要病害虫の発生現況及び予報の概要

【野菜】

作物名	病害虫名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
イチゴ	うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類	並 やや多い 少ない	並 やや多い 少ない
キャベツ	黒腐病 菌核病 コナガ	やや少ない 並 やや少ない	やや少ない 並 やや少ない
レタス	灰色かび病 菌核病	並 並	並 並
ネギ	シロイチモジヨトウ	並	並
野菜共通	ハスモンヨトウ オオタバコガ	並 やや多い	並 やや多い

・平年値(過去10年間の平均)がない場合は、前年までの平均値を用いた。

【野菜】

1 イチゴのうどんこ病

(1) 予報の内容

発生量：平年並で、前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果、発病株率は平均：2.9%(平年：3.7%、前年：0%)であった。

イ 気象予報では、11月の気温は低く、降水量は平年並と予想されてい

る。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 初発生は、新しく展開した葉の裏に認められるので、上位葉裏面の病斑の有無を随時確認し、早期発見に努める。

イ 不要な下葉は早めに除去し、薬液が葉裏にもかかりやすくする。

ウ 各種薬剤に対する感受性が低下するのを避けるため、同一系統薬剤を連続して使用せず、数系統の薬剤を組み込んだローテーション散布を行う。

エ 農薬安全使用基準を守り、危被害防止に努める。防除薬剤については県野菜病害虫防除基準を参照する（以下の病害虫についても同様）。

2 イチゴのアブラムシ類

(1) 予報の内容

発生量：平年、前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果、寄生株率は平均：3.9%（平年：0.8%、前年：0.1%）であった。

イ 気象予報では、11月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発生後は防除が困難なので、発生状況をよく観察し、早期発見、早期防除に努める。

イ 各種薬剤に対する感受性が低下するのを避けるため、同一系統薬剤を連続して使用せず、数系統の薬剤を組み込んだローテーション散布を行う。

3 キャベツの菌核病

(1) 予報の内容

発生量：平年、前年並

(2) 予報の根拠

ア 10月5半旬調査の結果、発病株率は平均0%（平年：0%、前年：0%）であった。

イ 気象予報では、11月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発病後の防除は困難なので、県野菜病害虫防除基準に従って予防的に薬剤散布を行う。

イ 多雨後の多湿条件で発生が助長されるので雨後は薬剤散布を行う。

ウ 発病株を放置すると感染源となるので、ほ場外へ持ち出し焼却処分する。

エ 菌核は土中で2～3年は生存し次作の感染源となるので、発生を認めたとほ場では、収穫終了後に残さをすき込まないようにする。

4 野菜共通のオオタバコガ

(1) 予報の内容

発生量：過去4年平均よりやや多い

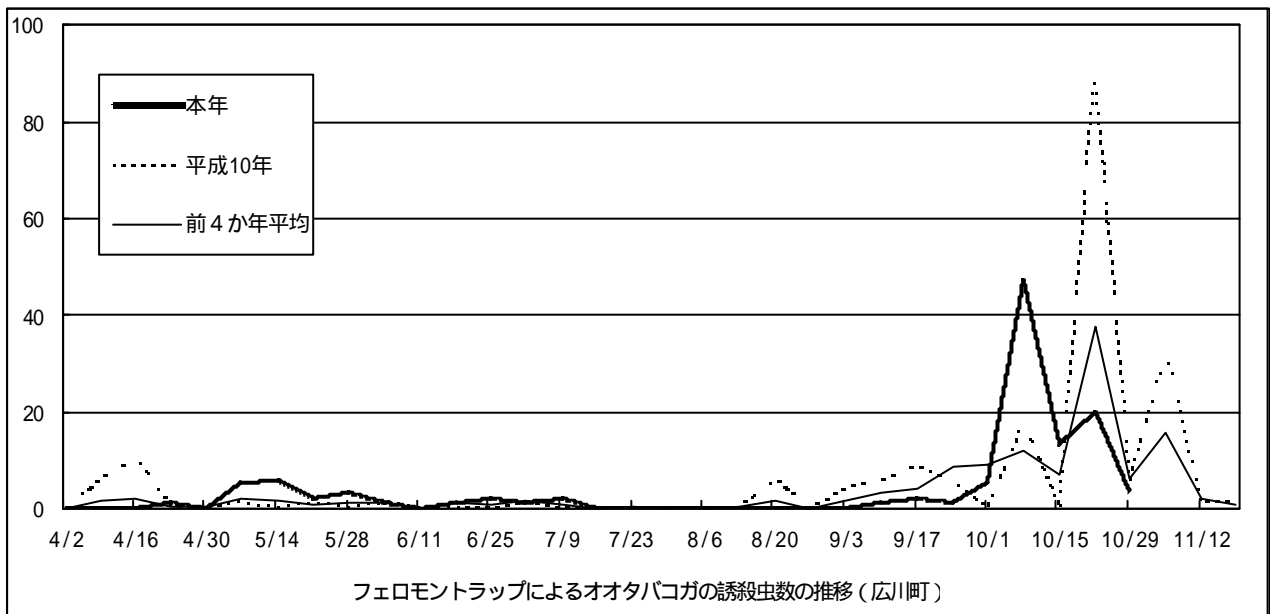
(2) 予報の根拠

ア 広川町に設置しているフェロモントラップの誘殺虫数は、10月1日から10月29日までの累積で88頭（過去4年平均：71.25頭、大発生時の平成10年度：113頭）であった。

- イ 10月5半旬調査におけるイチゴの寄生株率は1.3%（前年：0.3%）ナスでは被害果率が3.9%（発生ほ場率85%）であった。
- ウ 気象予報では、11月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。

（3）防除上注意すべき事項

- ア 幼虫は、作物の生長点付近の茎葉や花蕾を加害するのでその周辺をよく観察する。新しい食害や虫糞を確認したら、卵、幼虫を探して捕殺し、薬剤防除を実施する。
- イ 薬剤による防除は、3齢未満の若齢幼虫の時期がより効果的である。レタスやキャベツへの食入防止のためには、結球初期の防除が重要であり、定植直後から1週間間隔で防除する。
イチゴでは、出蕾期から結実期の防除を徹底する。
- ウ 施設では、ハウスの開口部分に4mm目のネットを張ることで成虫の侵入を阻止できる。
成虫は夜行性であり、ハウス内の温度が上昇する日中はネットを開けてもよいが、薄暗い曇天の日などには夕方早くから飛んでいることがあるので、早めに閉じるようにする。



1 1月の気象予報（1か月）

（予報期間 10月26日～11月25日）

2002年10月25日
福岡管区气象台発表

【概要】

向こう1か月の平均気温は平年より低く、降水量は平年並、日照時間は平年並か少ない可能性が大きいでしょう。

【要素別確率】

（単位％）

要素	低い （少ない）	平年並	高い （多い）
気温	50	40	10
降水量	30	50	20
日照時間	40	40	20

- < 1週目の予報 > 10月26日～11月 1日
この期間の平均気温は、平年より低い可能性が大きいでしょう。
- < 2週目の予報 > 11月 2日～11月 8日
この期間の平均気温は、平年より低い可能性が大きいでしょう。
- < 3～4週目の予報 > 11月 9日～11月22日
この期間の平均気温は、平年並の可能性が大きいでしょう。

参考資料

福岡における平年値

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温

向こう1か月			平均気温（ ）		
平均気温（ ）	降水量(mm)	日照時間(h)	1週目	2週目	3-4週目
14.4	78.3	147.1	16.3	15.5	13.5

病虫害防除所では、病虫害の発生状況と防除について、ホームページとテレホンサービスでお知らせしています。アドレス及び番号は下記の通りです。

ホームページアドレス

www.jppn.ne.jp/fukuoka

電子メールアドレス

kfok0301@sp.jppn.ne.jp

テレホンサービス

092 - 928 - 6401（普通作・イグサ）

092 - 928 - 6402（果樹）

092 - 928 - 6403（野菜・茶）

